

開園記念式

7月1日はひかり保育園の開園記念日です。『ひとりひとりを大切に、ひとりひとりにひかりをあて、ひかり輝く子どもに』という願いを込め、『ひかり保育園』と名づけられ、今年でちょうど50回目の誕生日を迎えました。節目の年ということで、当日は人権センターで開園記念式を行いました。ひかり保育園の幼児クラスの子どもたち・職員だけでなく、5歳児の保護者や地域の方にも参加して頂き、一緒にお祝いしました。



お祝いのくす玉が登場しました。「おめでとう」と言う前に割れてしまうというハプニングがありましたが、中から出てきたキラキラテープにみんな大喜びでした。



この地域で長年、踊られている『堀池音頭』をみんなで踊りました。地域の方が三味線と太鼓の生演奏に駆けつけてくださいました。『みんなが主役や』の歌も、作曲された卒園生の方のギターの生演奏で歌うことができました。



「ワッショイ ひかり ちから あわせ」の掛け声と共におみこし担ぎをしました。



みんながおみこしを担いでいる間、5歳児が太鼓をたたき、応援してくれていました。

夜は他園の職員と研修の機会を持ちました。『差別を見抜き、差別に負けない子どもに育てほしい』『仲間を大切にできる子どもに育てほしい』という開園当時の保護者の思いや設立の意義を再確認し、自分自身について振り返る機会となりました。今もなお様々な差別事象が存在します。より一層子どもを取り巻く大人の人権意識を高めることが求められます。設立当時の地域の方々の思いを受け継ぎながら『一人ひとりを大切にする保育』をこれからも進めていきたいと思ひます。